6 社 会 体 育

(1) 令和３年度社会体育の運営方針

スポーツの充実、一生涯を通じた生涯スポーツを目指し、住民一人ひとりが楽しんで行えるように教室や大会を開催し、目的に応じてスポーツに親しみ、積極的に参加できるような環境整備に努めます。

①住民各層のニーズを把握し、スポーツ活動に参加していない人の運動意欲を高めるためめるために、スポーツ教室や、スポーツイベントを企画運営し、年齢を問わずスポーツを楽しめるように努めます。

②ニュースポーツや軽スポーツの体験が容易にできる機会をつくり、スポーツ活動を行っていない住民の方々にスポーツを楽しんでいただき、スポーツをクラブや、サークル活動として発展させることで、生涯スポーツの活性化を図ります。

③スポーツ活動の企画運営について、スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携を取るとともに、スポーツ団体、住民がスポーツ活動やスポーツイベントにプレーヤーとして参加する「する」スポーツから「ささえる」「みる」など各々の関心や適性に応じた様々な形でスポーツに参加できる環境を創ります。

④コロナ禍という激動の時代によりステイホームやリモートワークにより、ますます運動の機会が減っています。多くの方に社会体育館を利用してもらいながら、基礎体力向上や日頃の運動不足を解消するよう推進していきます。

(2) 令和３年度社会体育の重点目標

ア．社会体育では、村内の児童・生徒を対象に、スポーツを楽しみ心身を鍛える場を広げ、地域のクラブ活動指導者等と連携して、スポーツ活動と仲間づくりの活性化を図ります。

イ．地域住民が一堂に会してスポーツを楽しみ、親しめる機会を設けます。

ウ．地域住民のニーズに添ったスポーツ講習会、教室、大会行事の開催を計画し、より多くの村民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康で明るい生活ができるよう推進します。

エ．住民がスポーツに親しめるような情報を発信します。

オ．社会体育施設の有効な活用を図ると共に、施設の環境整備に努めます。

カ．新型コロナウイルス感染防止対策のため、入館時のアルコール消毒、検温、名簿記入、１時間に２回以上の換気、使用後の消毒液での器具拭き取りをし、感染対策をとりながら、施設利用をしていただきます。

(3) 令和３年度社会体育の重点活動

ア．生涯スポーツを推進するためにスポーツ推進委員会、スポーツ協会と連携を取りながら、住民がより参加しやすいイベントを企画・運営します。

イ．スポーツ人口の底辺拡大のため、スポーツ教室は少年スポーツと軽スポーツを中心に行います。

ウ．スポーツ大会は、スポーツ団体等と連携し、競技力の向上を図るとともに住民の交流の場を創ります。

エ．クラブ・サークル活動の育成・強化を図るための支援体制を強化します。

オ．スポーツのイベント（村民スポーツ祭・冬季スポーツ祭・穂屋祭体育大会等）を村民がより楽しめる種目を検討し、参加しやすいイベントにします。

カ．ファミリースポーツデーは、社会体育等を無料開放し、親子等でふれあえる場を提供します。

キ．情報提供のため広報、有線告知放送及びインターネットを活用します。

ク．社会体育施設の適正な管理運営をするため、計画的に施設整備を進めます。


ソフトバレー大会による住民の交流


穂屋祭体育大会による競技大会

(4) 令和３年度大会行事の開催計画

ア．村民のためのイベント

行　事　名	内　容	会　場	期　日
第 31 回 村民スポーツ祭	跳べ跳べもっと翔べ・満たんリレー・ 綱引き大会・空を駆ける少女・ 混合メドレーリレー・玉入れ・年齢別リレ ー	原小学校校庭	中止
第 74 回 穂屋祭体育大会	バレーボール・バスケットボール・ 野球・卓球・柔道・剣道・マラソン	社会体育館 弓振農村広場 深山農村公園 原中学校体育館	中止
村民冬季スポーツ祭	スケート競技・ 綱引き大会・人間距離競争・ カーリング・氷上リレー	原小学校 校庭リンク	御柱年のため 中止

イ．各種大会行事

大　会　・　行　事　名	期　日	会　場
第 57 回原村バレーボール懇親会	6 月 18 日（金）	社会体育館体育室
第 60 回原村ソフトバレーボール大会	中止	社会体育館体育室
陸上記録会	中止	原中学校庭
第 42 回原村卓球大会	未定	社会体育館卓球室
第 56 回原村野球選手権大会	中止	弓振農村広場・深山農村公園
第 51 回村内めぐり駅伝大会	10 月 9 日（土）	原村村内
第 58 回原村バレーボール大会	10 月 15 日（金）	社会体育館体育室
第 61 回原村ソフトバレーボール大会	11 月 20 日（土）	社会体育館体育室
第 42 回原村元旦マラソン	1 月 1 日（元旦）	村内
第 42 回原村バスケットボール大会	3 月 13 日（日）	社会体育館体育室・中学校体育館

ウ．対外行事

大　会　・　行　事　名	期　日	会　場
長野県市町村対抗駅伝競走大会 〃　　小学生駅伝競走大会	中止	松本平広域公園陸上競技場 〃
信州チャレンジスポーツＤＡＹ ヘルスバレーボール大会	中止	
諏訪地方陸上競技選手権大会	9 月　6 日（日）	茅野市運動公園陸上競技場
第 50 回南諏親善スケート大会	1 月 10 日（月）	原村
第 71 回諏訪地方スケート大会	2 月 11 日（金）	岡谷

エ．健康づくり、体力づくり運動推進行事

行　事　名	内　容	会　場	期　日
体力テスト	健康チェック、体力テスト	社会体育館	9 月 22 日（水）
ファミリースポーツデー	村民へ無料開放日 （午後 12 時～午後 5 時）	社会体育館	毎月第 2 土曜日

(5) 令和３年度講座・教室等の計画

ア．スポーツ教室一般の部

教室名	対　象	実施予定日	場　所	目的
筋力アップ教室	住民 （高校生以上）	奇数月 最終木曜日	社会体育館	機器の正しい使い方を学び、自分に合った筋力トレーニングをする。
バウンド テニス教室	住民 （中高年）村民	12月～2月 月曜日	社会体育館	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。
硬式テニス教室	住民 （中学生以上）	2月～3月 日曜日	社会体育館	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。
バドミントン教室	5/15 ～ 12/19 （年間 13 回） （小学生以上）	PM1:00～3:00 （開講式は除く）	社会体育館	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。

イ．少年スポーツ教室（小学生２～６年）

教室名	開催予定日	時　間	場　所	目的
少年バレーボール教室	5/14 ～ 12/10 （年間 23 回予定）	PM6:30～8:00 （開講式は除く）	社会体育館	基礎技術を身につけ練習やゲームを通してスポーツの楽しさを体験する。
少年バスケットボール教室	5/15 ～ 12/11 （年間 22 回予定）	PM6:00～8:00 （開講式は除く）	社会体育館	
少年サッカー教室	5/16 ～ 3 月中旬	PM1:00～14:30 （開講式は除く）	原小学校校庭 原小学校体育館 社会体育館	


テニス教室


卓球大会

(6) 令和２年度講座・教室等の実施状況

ア．体力テスト

行　事　名	対　象	実　施　日	参加数	主　　催	備　　考
体力テスト	一般	9月23日	中止	教委・スポ推	社会体育施設利用登録団体

イ．スポーツ教室

教　室　名	ね　　ら　　い	回数	延参加者数
筋力アップ教室	トレーニングマシンの活用法を知って筋力アップを図る。	6	21
バウンドテニス教室	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。	12	206
硬式テニス教室	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。	8	70
バドミントン教室	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。	8	97

ウ．少年スポーツ教室（小学生２～６年）

教　室　名	教室人員	ね　　ら　　い	教室回数	延参加者数
少年バスケットボール教室	18	基礎技術の習得をとおして仲間づくりと心身の健全育成を図る。	17	237
少年バレーボール教室	17		19	255
少年サッカーボール教室	44		18	426

(7) 令和２年度大会行事実施状況

ア．主として社会体育館で企画推進しているスポーツ行事

行　事　名	実施日	参加者数	対前年	主催・主管	備考
第55回原村ソフトバレーボール大会	6/19	中止	△32人	教委･スポ推	
陸上記録会	6/20	中止	0人	教委･スポ協	
第58回原村ソフトバレーボール大会	6/27	中止	△35人	教委･スポ協	
第41回原村卓球大会	6/28	中止	△4人	教委･スポ協	
第30回原村村民スポーツ祭	7/11	中止	0人	村･教委･スポ協	
第55回原村野球選手権大会	8/15	中止	△170人	教委･スポ協	
第73回穂屋祭体育大会	8/23～8/30	中止	△600人	教委･スポ協	
第50回村内めぐり駅伝大会	10/11	中止	△85人	教委･スポ協	
第56回原村バレーボール大会	10/16	中止	△50人	教委･スポ協	
第59回原村ソフトバレーボール大会	11/21	中止	△50人	教委･スポ推	
第41回原村元旦マラソン	1/1	中止	△44人	教委･スポ協	
第20回原村村民冬季スポーツ祭	1/23	中止	0人	教委･スポ協	
第41回原村バスケットボール大会	3/14	中止	0人	教委･スポ協	

ファミリースポーツデー（社会体育館無料開放日）

開　催　日	6/13	7/11	8/8	9/12	10/10	12/12	1/9	2/13	合計	前年	前年比
利用者数	14人	23人	12人	2人	4人	22人	11人	10人	98人	261人	37.5%

イ．対外行事

大会・行事名	期日	参加者数	対前年	主催・主管	備　考
第30回長野県市町村対抗駅伝競走大会	4/25	中止	△9人	長野陸上競技協会・ＳＢＣ信越放送・信濃毎日新聞社	松本平広域公園陸上競技場
第16回長野県市町村小学生対抗駅伝競走大会	4/25	中止	△6人	長野陸上競技協会・ＳＢＣ信越放送・信濃毎日新聞社	松本平広域公園陸上競技場
スポーツチャレンジDAY	6/21	中止	△2チーム	諏訪地方スポーツ推進委員会	原村社会体育館
第71回諏訪地方陸上競技選手権大会	9/6	中止	△17人	諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会	茅野市運動公園陸上競技場
第49回南諏親善スケート大会	1/11	22人	9人	教委・スポ協	茅野市運動公園国際スケートセンター
第70回諏訪地方スケート大会	2/11	中止	14人	諏訪地方教委連絡協議会	茅野市運動公園国際スケートセンター

(8) 令和２年度社会体育館利用状況

場所・種別 月　別			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	行事教室等	総合計	前年度利用数	前年比
体育室	一　般		106	25	783	674	565	793	726	694	676	670	708	731	7,151		7,151	8,302	86.1%
	保・小中生		165	117	1217	2163	1037	1961	1395	927	1743	1997	2845	2563	18,130		18,130	22,199	82.9%
	計		271	142	2,000	2,837	1,602	2,754	2,121	1,621	2,419	2,667	3,553	3,294	25,281		25,281	30,501	82.9%
武道場	第一（剣）	一　般	36	0	94	88	44	87	130	116	98	93	86	117	989		989	1,257	78.7%
		保・小中生	0	0	59	40	30	23	57	35	45	64	44	40	437		437	1,090	40.1%
	第二（柔）	一　般	1	0	29	30	29	28	37	31	29	34	37	44	329		329	461	71.4%
		保・小中生	1	0	41	51	47	47	50	41	40	44	55	48	465		465	747	62.2%
	合　計		38	0	223	209	150	185	274	223	212	235	222	249	2,220		2,220	3,555	62.4%
卓球室	一　般		11	0	204	277	221	278	232	339	332	222	367	350	2,833		2,833	3,173	89.3%
	保・小中生		1	0	221	270	228	217	202	237	224	130	189	329	2,248		2,248	2,828	79.5%
	計		12	0	425	547	449	495	434	576	556	352	556	679	5,081		5,081	6,001	84.7%
ミーティングルーム			8	0	0	52	7	56	41	8	0	0	0	53	225		225	407	55.3%
トレーニングゲーム			0	0	8	21	20	55	15	13	9	5	13	10	169	21	190	283	67.1%
ロビー			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	35	0.0%
種別計	一　般		162	25	1,118	1,142	886	1,297	1,181	1,201	1,144	1,024	1,211	1,305	11,696	21	11,717	13,883	84.4%
	保・小中生		167	117	1,538	2,524	1,342	2,248	1,704	1,240	2,052	2,235	3,133	2,980	21,280	0	21,280	26,899	79.1%
社会体育館合計			329	142	2,656	3,666	2,228	3,545	2,885	2,441	3,196	3,259	4,344	4,285	32,976	21	32,997	40,782	80.9%

社会体育施設（屋外施設）

庭球場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計	前年度利用数	前年比
一般	0	0	42	83	133	126	96	20	0	0	0	0	500	1286	38.9%
保･小学生	0	0	0	0	8	4	1	0	0	0	0	0	13	4	325%
小計	0	0	42	83	141	130	97	20	0	0	0	0	513	1290	39.8%

弓振農村広場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計	前年度利用数	前年比
一般	0	0	11	15	64	52	47	43	0	0	0	0	232	1193	19.4%
保･小学生	0	0	58	26	93	47	14	85	0	0	0	0	323	484	66.7%
小計	0	0	69	41	157	99	61	128	0	0	0	0	555	1677	33.1%

マレットゴルフ場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計	前年度利用数	前年比
一般	0	0	154	70	148	135	118	20	0	0	0	0	645	1126	57.3%
保･小学生	0	0	98	42	140	94	125	20	0	0	0	0	519	869	59.7%
小計	0	0	252	112	288	229	243	40	0	0	0	0	1164	1995	58.3%

学校開放施設

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	行事等	総合計	前年度	前年比
小学校	体育館	0	0	0	178	150	0	35	35	301	706	698	152	0	2255	1562	144.4%
	校　庭	48	0	234	206	206	331	416	410	87	0	0	155	0	2093	4352	48.1%
中学校	体育館	0	0	147	361	246	242	326	225	209	60	100	190	0	2106	2227	94.6%
	校　庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0%
スケート場（2日）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3982	0	0	0	3982	621	641.2%
合　計		48	0	381	745	602	573	777	670	597	4748	798	497	0	10436	8844	118.0%

(9) 社会体育施設の概要

ア、教育課が管理する施設

① 社会体育館

○体育館アリーナ　37m×26m　ギャラリー付

・メインバスケットコート　1面
・サブバスケットコート　2面
・メインバレーコート　1面
・サブバレーコート　3面
・テニスコート　1面
・バドミントンコート　4面

○卓球場　16.50m×26.63m

・バウンドテニス場（兼用）4面

○第1武道場（剣道・空手）15.19m×12.5m

○第2武道場（柔道）90畳

○トレーニング室（SERコンビネーションマシン付）

② 原村庭球場　2面

③ 弓振農村広場グラウンド　10,159㎡
ゲートボール場　2面

④ 御山マレットゴルフ場　36ホール　総距離　2,170m

⑤ 学校開放施設　小中学校体育館・グラウンド

イ、その他のスポーツ施設

① もみの木荘屋内ゲートボール場　2面
多目的グラウンド　12,000㎡

② 室内農村公園・多目的広湯　2,884㎡

③ 原村八ヶ岳自然文化園

・ミニゴルフ27ホール　10,000㎡
・マレットゴルフ18ホール　25,000㎡
・サイクリングコース
・フィールドアスレチック
・グレスデンスキー場190m　492㎡

④ 払沢農村交流施設

・多目的広場　3,500㎡
・ゲートボール場　3面

⑤ 南原運動広場

・多目的広場　3,300㎡

⑥ 深山農村公園

・多目的広場



体育館アリーナ



御山マレットゴルフ場

7　文化財事業

(1)　令和３年度事業計画

文化財を国民共有財産として、後世に伝えることが私たちの課題である。文化財の保護と活用を図り村民の文化的向上に資するとともに、埋もれている文化財の早期発見を推進する。

《事業計画概要》

① 文化財の指定と保護
② 文化財パトロール
③ ミヤマシロチョウの保護と監視

原村郷土館

民俗資料は、先人たちが日々使用していた生活に密着した道具で、当時の生活を知る上で極めて重要な役割を持っているが、生活様式の変化に伴い無くなりつつある。その知恵の結集ともいえる民俗資料の収集と保護を行い、それらを活用する中で村民に親しまれる郷土館にしていきたい。

原村郷土館は、中新田区の伊藤米之助氏宅を移築したもので、この地方の一般的なものである。平成14年度からこの民家で機織の体験学習を行っている。また、家財道具と農具なども展示しているが充実したものではない。土蔵は役場から、藁打ちは柏木区から移築したものである。また、土蔵には原村に多く見られる鏝絵を復元して、鏝絵のPRを広く行い、原村の活性化につなげたい。

原村民俗資料展示室は、この地方の生業の一つであり、農家の現金収入源として、盛んに行われてきた養蚕に関する用具を中心に、繭から糸を採る家内製糸用具、布を織る機織用具などを展示している。

までのくらは、原村役場の書庫として使われていた土蔵を昭和50年代に移築し、平成28～29年度にかけて、なまこ壁と正面入り口の上に「稲穂と米俵」、水切り上の帯部に「ぶどうと蔓」・「竹と米粒をついばむ雀」、丑鼻には「宝づくし」と「恵比寿大黒」の鏝絵を施した。また、鏝絵等を展示する内装工事を行い、原村の鏝絵を全国に発信する施設として改修を行った。

村民は土蔵の主な用途として米倉として使い、節約をしてまめに働き、もったいない精神=何事もまてにして生活をしてきました。そのことが現在の村の発展につながっていることから、村民が以前から使っている方言でまてという言葉を盛り込み「までのくら」として命名した。1階には鏝絵を、2階には一般的な農家の収蔵品を展示している。

平成18年度に住民協働で整備を実施したが、これからも環境整備を続け、住民中心の活用を進めて行きたい。

《事業計画概要》

① 民俗資料の収集と公開
② 機織・農耕具の体験学習、講座の開催

阿久遺跡と埋蔵文化財保護

八ケ岳西麓に展開する原村は、縄文の故郷とか遺跡の宝庫といわれ、村内には98遺跡が分布している。代表的なものは国史跡の阿久遺跡や村史跡の臥竜遺跡である。

発掘調査を通してわかってきたことの概略を述べると、原村にまず人々が住みはじめたのは、今から約30,000年前の旧石器時代からである。該期の弓振日向遺跡は県内でも最古に属する遺跡で、この頃の人たちは、黒曜石で作った道具を使い、狩猟生活をしていたといわれている。

約16,000年前に縄文時代がはじまるが、これまでの生活に土器という煮沸具が普及したことにより、生活は安定してきたようである。村内からも早創期と早期の土器破片や石器は発見されているが、未だ住居址の発見には至っていない。前期の阿久遺跡は、中央自動車道西宮線建設に先立つ発掘調査（昭和50～53年）で、貴重な遺構の発見が相次ぎ「前期縄文時代観の転換」といわれたように、極めて高い水準の文化を持っていたことが判明し、昭和54年に国の史跡に指定された。

中期に入ると遺跡は急激に増加し、大石・前尾根・居沢尾根・臥竜などの大規模な遺跡が見られるようになる。土器の製作技術は向上し豪華で力強く、「縄文神の国」で作られた土器には、顔面や蛇体などの信仰的要素が強い立体的な把手で加飾されたものが多くなる。また、器種分化も進み有孔鍔付土器（酒造具）・台付土器（供献具）・釣手土器（ランプ）なども作られている。これは、当時の生活が安定していた事を物語っている。中期も後半になると、石棒・石壇（祭壇）・埋甕（胎盤を埋める）などの祭祀施設が屋内に持ち込まれてくるが、土器は退化が進み、単純な文様の深鉢が作られるだけで、八ヶ岳山麓に花開いた中期縄文文化は失われてくる。後期になると、関東や東北地方の影響が顕著にみられ、土器は薄手で文様も簡素なものばかりで、遺跡は急激に減少している。晩期の土器と石器は本当に少なく、確実な遺跡は確認できない。その要因は、寒冷化に伴う生産力の低下が大きかったと考えられている。

弥生時代は３遺跡が確認されているだけであり、次の古墳時代は未だ遺跡は確認できない。平安時代の後半になると再び遺跡数は増え集落も出現するが、極めて短期間のことであり、当時の技術では水稲農耕は無理だったのかもしれない。中世は、陥し穴を多くの遺跡で発見しているが、集落址の発見には至っていない。阿久遺跡の南外れからは大掛かりな溝址が出土したが、構築理由はわかっていない。

原村埋蔵文化財収蔵庫は、発掘調査で出土した土器や石器を保管収蔵している。施設の性格上、一般公開はしていないが小学生・中学生をはじめ研究者等の見学に便宜をはかり、村の人たちにも見る機会をもうけている。

なお、土器・石器の一部は原村歴史民俗資料館や原村役場村民広場、原小中学校で公開している。

平成31年度に柏木区にある旧JA柏木支所の改修工事を実施後に移転した原村文化財整理室は、発掘調査で出土した土器や石器等の遺物、調査記録、図面、写真等の整理、土器の復元、発掘調査報告書等の刊行物の作成を行い、文化財係の事務所としても使用している。原村の縄文文化や文化財業務を知ってもらえるようにイベントや体験教室、小中学校の授業などで説明・見学を実施している。

前尾根遺跡から出土した顔面装飾付釣手土器は平成30年に長野県宝に指定され、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の構成文化財になっている。令和元年度に愛称募集を実施し、「火の女神 フゥーちゃん」に決定。また、令和2年度にキャラクター総選挙を実施。今後は原村の縄文や文化財の発信に活用する。

《事業計画概要》

① 村内遺跡の保護と啓蒙
② 阿久遺跡・臥竜遺跡の整備と管理
③ 発掘調査と報告書の作成
④ 出土遺物の再整理
⑤ 埋蔵文化財啓発事業
⑥ 八ヶ岳定住自立圏資料館連携事業企画展「山麓火story ～火と生きた縄文人～」
⑦ 元気づくり支援金 「日本遺産の磨き上げ -住民と共に心豊かで元気な村づくり-」
⑧ 原村文化財整理室(旧JA柏木支所)建物・土地買上げ事業
⑨ 県宝指定 顔面装飾付釣手土器レプリカ作製事業

(2) 令和２年度事業の概要

① 文化財パトロール

○村内にある村指定天然記念物等のパトロールを行ない、菖蒲沢区にある「からかさ松」は枝の剪定を実施。村指定天然記念物は4本の樹木があるが、すべて老木で今後、枯死しないように見守る必要がある。

② ミヤマシロチョウの保護と監視

○「原村ミヤマシロチョウの会」と共に生息環境整備の枝払いや、越冬巣個体数の調査等、地域の里山としてミヤマシロチョウだけに特化せず、多様な生物が生息する場を守ることを確認し生態調査等の保護活動を行なった。成虫個体数調査、越冬巣調査を実施したが、いずれも確認することができなかった。

③ 文化財防火デーの実施

○全国的に展開する「文化財防火デー」に合わせ、村指定文化財等を原消防署と共に巡回し、点検と所有者に対する啓蒙活動を行った。

④ 民俗資料の収集と公開

○新たに寄贈された民俗資料を調査し台帳の作成を行う。

⑤ 原村郷土館の開館（7月11日～9月27日の56日間）入館者961名

○民家内での機織り体験、機織教室を行った。

○村内小学生対象の「裂き織りでガマ口ポーチを作ろう」や竹を使った「水鉄砲作り教室」を行った。

○「めざせ1000個！光る泥だんご作り」を行い、郷土館での時間を有意義に過ごす機会を増やすことが出来た。当初は「おやき作り」を予定していたが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、中止とした。

○企画事業「美しい原村の煌人 今も輝く二人展～村の原風景を後世に～」を開館日から8月30日まで開催した。村在住の牛山一子氏の「版画」と牛山よしみ氏の「押絵」を展示し、とても好評で村民の方が多く来館された。

○開館にあたり「ふるさと空間発信倶楽部」の皆様により、敷地内の草刈り・草取り等を実施した。

○庭先でいんげん棚や野菜作りを行い、昔の面影を再現した。

○平成18年度から試みたイラストによる民俗資料の用途解説等も好評であり、希望により説明絵葉書を実費配布し、好評を得た。

○「までのくら」整備事業として、老朽化した屋根の葺き替え工事を実施した。

⑥ 阿久遺跡（国史跡）と臥竜遺跡（村史跡）の整備と管理

○臥竜遺跡の復原住居は、その修復に小学生をはじめ多くの村民の人たちが体験学習の一環として行ったもので、ボランティアで管理と補修を行っていただいているが、これからも皆で作った皆の家を大事にしていきたい。

○阿久遺跡は環境整備として、林床の刈払いを2回実施した。

○原村埋蔵文化財収蔵庫を希望により公開し、阿久遺跡等の出土遺物の説明を3組16名に行った。

⑦ 埋蔵文化財発掘調査と報告書の刊行

○家裏遺跡(試掘調査) 令和2年4月22日～4月23日

事務所兼倉庫建設に先立つ緊急試掘調査

遺構・遺物の発見には至らなかったが、遺跡東側保存状況を確認することができた。

整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財99」を刊行した。

○前尾根西遺跡(試掘調査) 令和2年6月25日

個人住宅建設に先立つ緊急試掘調査

遺構を発見するには至らなかったが、縄文土器破片を採取できたことで、遺跡範囲が北側へ広がることが分かった。

整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財99」を刊行した。

○二枚田遺跡（第10次）令和2年11月6日

合併浄化槽設置に先立つ緊急発掘調査

遺構・遺物の発見には至らなかったが、遺跡南東部の保存状況を確認することができた。

整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財99」を刊行した。

○赤羽遺跡(試掘調査)令和2年8月31日～9月9日（第2次）令和2年9月15日～11月27日

事務所造成に先立つ緊急試掘・発掘調査

遺跡範囲外から小竪穴と縄文土器等の遺物を発見することができ、182基もの小竪穴を調査した。

整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財100」を刊行した。

○久保地尾根遺跡（範囲確認）令和2年10月16日～11月4日（第17次）令和2年11月15日～11月20日

宅地造成に先立つ緊急試掘・発掘調査

試掘調査において、小竪穴135基を発見し、このうち95基の小竪穴を調査した。

整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財101」を刊行した。

○裏の尾根遺跡（第3次）令和2年12月4日～12月14日

県営農村地域防災減災番飼場地区に先立つ緊急発掘調査

遺構・遺物の発見には至らなかったが、遺跡の保存状態を確認することができた。

整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財98」を刊行した。

⑧　村内遺跡保存活用整備事業　令和2年4月1日～令和3年3月31日

○平成9年度に発掘調査した、南平遺跡の土器・石器・写真・図面等の整理を行い、遺物台帳や収蔵台帳の作成を行う。

○「原村文化財ガイドブック第10集」を作成し、全戸配布した。

○前尾根遺跡出土「顔面装 飾付釣手土器」のキャラクター総選挙を実施。令和2年8月から9月まで原小中学校・役場・美術館等の施設に投票箱を設置。投票総数2283票の中から650票を獲得したキャラクターが決定。決定記念イベントとして、「フゥーちゃんに会いに行こう」、「フゥーちゃんしおり作り＆文化財お仕事探検」を実施し、周知を図った。

○復元してから30年程が経過した土器は、接着材の劣化が進み破損が懸念されるものも多く、それらの補修を行った。今後も続ける必要がある。

○「広報はら」で土器や石器の紹介をして、原村役場村民広場・原中学校・小学校に展示公開した。

○八ヶ岳美術館の展示替えを実施。

○平成29年までに村単事業で発掘調査した遺跡の整理作業が進んでいないため、調査記録・実測図・記録写真の整理、

土器の復元を行なう。土器・石器は委託により実測を行ない報告書の作成を行う。

発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財102」を刊行した。

未刊行の報告書があり、また、土器・石器は膨大であり今後も続ける必要がある。

⑨　埋蔵文化財啓発ジュニア教室

○ジュニア教室で土器づくりと弓矢づくりを行い、縄文時代への啓発を行った。土器づくりを予定していたが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、中止とした。

⑩　八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン資料館連携事業の共同企画展の開催

○共同企画展「捕る・採る・摂る　山麓の縄文食」展を八ヶ岳美術館・井戸尻考古館・北杜市考古資料館で開催。スタンプラリーを行い、缶バッチ等を配布。首都圏からの1泊2日バスツアーを開催予定であったが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、中止とした。代替事業として、11月23日にオンラインガイドツアーを北杜市梅の木遺跡の復元竪穴住居内で実施。

(3) 指定文化財

（令和3年4月1日現在）

	区　　分	名　　称	指定年月日	所　在　地
国指定	史跡	阿久遺跡	昭54. 7. 2	柏木9325-9ほか
	特別天然記念物	カモシカ	昭30. 2.15	地域定めず
	天然記念物	イヌワシ	昭40. 5.12	地域定めず
	天然記念物	ヤマネ	昭50. 6.26	地域定めず
県指定	県無形民俗文化財	諏訪大社の御柱祭り	平 6. 8.15	原村ほか
	県天然記念物	ミヤマシロチョウ等10種	昭50. 2.24	地域定めず
	県天然記念物	ホンシュウモモンガ	昭50.11. 4	地域定めず
	県天然記念物	ホンドオコジョ	昭50.11. 4	地域定めず
	県宝	信州の特色ある縄文土器	平30. 9.27	柏木6523ほか
村指定	村史跡	物見ケ岡	昭48. 4. 1	柏木8347
	村史跡	臥竜遺跡	昭57. 3.10	払沢5980　臥竜公園
	村史跡	闢廬社（あきほしゃ）	昭58. 8.30	室内11868-1ほか
	村史跡	伝承の地　菖蒲沢に伝わる御射山道	平26.10. 8	菖蒲沢10877-1　石祠含
	村有形文化財	彫刻「友愛」	昭53. 9. 4	払沢6585　原小学校
	村有形文化財	石仏「十三仏」	昭55.11. 1	中新田13511-1　深叢寺
	村有形文化財	石仏「弁財天」	昭55.11. 1	中新田13512　深叢寺
	村有形民俗文化財	回り舞台	昭58. 3. 8	中新田13419　津島社
	村無形民俗文化財	エーヨー節	昭56.10.23	原村
	村無形民俗文化財	コチャかまやせの節	昭56.10.23	原村
	村天然記念物	道祖神の桜	昭45. 4. 1	八ッ手2442
	村天然記念物	ひめばらもみ	昭47. 4. 1	払沢5980-ロ　臥竜公園
	村天然記念物	からかさまつ	昭47. 4. 1	菖蒲沢9891
	村天然記念物	津島社の大藤	昭47. 4. 1	中新田13418　津島社

指定解除

	区　　分	名　　称	指定年月日	解除年月日	備　　考
村指定	村天然記念物	銀桜	昭45. 4. 1	平 2. 7.19	枯死（柳沢）
	村天然記念物	やまもみじ	昭45. 4. 1	平 4. 3.26	枯死（中新田）

(4) 原村教育委員会刊行報告書等

郷土の文化財シリーズ

1　平成元年 3月　棒道
2　平成 3年 3月　原村の道しるべ　付道路改修碑等
3　平成20年 3月　よみがえれ、八ヶ岳森林軌道
4　平成21年 3月　新田開発400年記念誌　郷土の歩み
5　平成26年 3月　原村の土蔵を彩る鏝絵
6　平成28年 3月　原村の石像文化財　～ふるさとの心を巡って～

原村の埋蔵文化財シリーズ

1	昭和54年 3月	阿久遺跡（第5次発掘調査） 重要遺跡範囲確認緊急調査報告書
2	昭和60年 3月	花表原・中御射山西・中御射山東遺跡 県営畑地帯総合土地改良事業御射山地区埋蔵文化財包蔵地緊急試掘調査報告書
3	昭和61年 3月	御射山遺跡（第2次発掘調査） 御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
4	昭和61年 5月	弓振日向遺跡 遺跡範囲確認調査報告書
5	昭和62年 3月	向尾根遺跡（第1・2次発掘調査） 駐在所（第1次）・教員住宅（第2次）建設に伴う緊急発掘調査報告書
6	昭和62年 3月	臼ヶ原遺跡 村道改良工事に伴う緊急調査報告書
7	昭和62年 3月	横道下遺跡 昭和54年度団体営土地改良総合整備事業に伴う緊急発掘報告書
8	昭和62年 3月	箕手久保遺跡 御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
9	昭和63年 2月	判の木東遺跡 御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
10	昭和63年 3月	恩膳遺跡 昭和62年度詳細分布調査報告書
11	昭和63年 3月	弓振日向遺跡（第2次発掘調査） 昭和61年度県営ほ場整備事業弓振地区に伴う緊急発掘調査報告書
12	平成元年 3月	闢盧沢遺跡 村道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書
13	平成元年 3月	恩膳西遺跡（第1次・第2次） 遺跡確認とライスセンター建設に伴う緊急発掘調査報告書
14	平成元年 3月	金芳遺跡 昭和63年度県営ほ場整備事業弓振地区に伴う緊急発掘調査報告書
15	平成元年 3月	姥ケ原・下原山南・下原山北遺跡 諏訪南インター原村工業団地内遺跡確認調査報告書
16	平成元年 3月	雁頭沢遺跡（第3次） 住宅団地造成に伴う緊急発掘調査概報
17	平成 2年 3月	梨の木沢・中道通・御射山沢・梨の木沢西遺跡 御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
18	平成 2年 3月	姥ケ原・下原山南・下原山北遺跡（第2次発掘調査） 諏訪南インター原村工業団地予定地内埋蔵文化財包蔵地発掘調査概報
19	平成 3年 3月	御射山道北・古屋敷西・堤之尾根遺跡 御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
20	平成 4年 2月	長峰遺跡 平成3年度県営ほ場整備事業丸山地区に伴う緊急発掘調査報告書
21	平成 5年 3月	雁頭沢（第4次）・下原山茂佐久保（第3次）遺跡 平成4年度住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書
22	平成 5年 3月	御射山遺跡（第4次発掘調査） 配送センター建設に伴う緊急発掘調査報告書
23	平成 6年 3月	雁頭沢遺跡（第5次） 住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書
24	平成 6年 3月	雁頭沢遺跡（第6次・第7次） 宅地造成及び工場建設に伴う緊急発掘調査報告書
25	平成 6年 3月	宿尻遺跡

県営ほ場整備事業西部地区に伴う緊急範囲確認調査報告

26　平成 6年 3月　阿久遺跡（第7次発掘調査）
平成5年度範囲確認調査報告書

27　平成 6年 3月　徳久利遺跡（第6次発掘調査）
富士見町道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書

28　平成 7年 1月　恩膳西遺跡（第4次発掘調査）
堆肥センター建設に先立つ緊急発掘調査報告書

29　平成 7年 3月　裏長峰遺跡
平成4年度県営ほ場整備事業恩前地区に伴う緊急発掘調査報告書

30　平成 7年 3月　上居沢尾根遺跡
平成4年度県営ほ場整備事業恩前地区に伴う緊急発掘調査報告書

31　平成 7年 3月　土井平遺跡
平成4年度県営ほ場整備事業恩前地区に調査先立つ緊急発掘調査報告書

32　平成 7年 3月　程久保（第1・2次発掘調査）・恩膳西（第3次発掘調査）遺跡
平成4・5年度県営ほ場整備事業恩前地区に伴う緊急発掘調査報告書

33　平成 7年 3月　居沢尾根遺跡（第5次発掘調査）
平成6年度県営ほ場整備事業原村西部地区に伴う緊急発掘調査報告書

34　平成 7年 3月　宿尻遺跡（第2次発掘調査）
平成6年度県営ほ場整備事業原村西部地区に伴う緊急発掘調査報告書

35　平成 7年 3月　久保地尾根遺跡
住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書

36　平成 8年 3月　阿久遺跡（第8次発掘調査）
送電線JR信濃境分岐線№1～№6間鉄塔建替工事に伴う緊急発掘調査報告書

37　平成 8年 3月　臥竜遺跡（第6次発掘調査）
貸店舗および共同住宅建設に先立つ緊急発掘調査報告書

38　平成 8年 3月　家前尾根遺跡
平成7年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書

39　平成 8年 3月　中尾根遺跡
平成7年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査概報

40　平成 8年 3月　芝原尾根遺跡（第1・2次発掘調査）
平成7・8年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書

41　平成 9年 3月　水掛平遺跡
平成7・8年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書

42　平成 9年 3月　久保地尾根遺跡（第4・6次発掘調査）
平成8年度県営圃場整備事業原村西部地区および県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書

43　平成 9年 3月　清水遺跡
平成8年度県営圃場整備事業原村西部地区および県営担い手育成基盤整備事業払沢地区に先立つ緊急発掘調査報告書

44　平成10年 3月　南平遺跡発掘調査概報
原村の縄文遺跡がいまよみがえる

45　平成10年 3月　前尾根遺跡（第5次発掘調査）
平成9年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査概報

46　平成10年 3月　家下・闢盧沢遺跡（第2次発掘調査）
平成9年度県営担い手育成基盤整備事業払沢地区に先立つ緊急発掘調査報告書

47　平成10年 3月　雁頭沢遺跡（第8次発掘調査）
平成9年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書

48　平成10年 3月　南原遺跡
平成9年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に伴う遺跡の範囲確認調査報告書

49　平成10年 3月　前沢・臼ヶ原・臼ヶ原西・臼ヶ原南遺跡
平成10年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書

50　平成11年 3月　二枚田・追分沢・南長尾遺跡
平成10年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
51　平成11年 3月　中尾根頭遺跡
平成10年度県営担い手育成基盤整備事業払沢地区に先立つ緊急発掘調査報告書
52　平成12年 3月　臼ヶ原南遺跡（第1・2次）・前沢遺跡（第4次）・阿久遺跡（第9次）
平成11年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
53　平成12年 3月　南原遺跡（第2次発掘調査）
平成11年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
54　平成12年 3月　小払沢遺跡
平成11年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
55　平成12年 3月　原村の遺跡
平成12年 3月現在
56　平成13年 3月　阿久遺跡（第9次発掘調査）
平成11年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査概報
57　平成13年 3月　阿久遺跡（第10次発掘調査）
平成12年度県営圃場整備事業原村西部地区および県単河川改修工事に先立つ緊急発掘調査概報
58　平成13年 3月　居沢尾根遺跡（第7次発掘調査）
平成12年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
59　平成13年 3月　家下遺跡（第3次発掘調査）
平成12年度県単道路改良事業に先立つ緊急発掘調査報告書
60　平成14年 3月　二枚田遺跡（第2次）・久保地尾根遺跡（第7次）
平成13年度個人住宅建設に先立つ緊急発掘調査報告書
61　平成14年 3月　居沢尾根遺跡（第8次）・雁頭沢遺跡（第10次）・久保地尾根遺跡（第8次）
平成13年度中部電力東日本鉄道信濃境分岐線（№4～№10）間電線高上げ工事鉄塔建設に先立つ居沢尾根遺跡緊急発掘調査・建売住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡緊急発掘調査・宅地造成に先立つ久保地尾根遺跡緊急発掘調査報告書
62　平成14年 3月　大石遺跡（第4次）・山の神遺跡（第2次）
平成13年度範囲確認調査報告書
63　平成15年 3月　塩水遺跡（第2次発掘調査）・柏木南遺跡（第2次発掘調査）
平成14年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
64　平成15年 3月　二枚田遺跡（第3次発掘調査）
平成14年度宅地造成に先立つ緊急発掘調査報告書
65　平成16年 3月　姥ヶ原遺跡・御射山北遺跡・裏の尾根遺跡
平成15年度住宅建設に先立つ姥ヶ原遺跡（第3次）・御射山北遺跡緊急発掘調査、診療所建設に先立つ裏の尾根遺跡確認調査報告書
66　平成16年 3月　前尾根遺跡（第6次発掘調査）
平成15年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
67　平成16年 3月　雁頭沢遺跡（第11次）
平成15年度工場および駐車場建設に先立つ緊急発掘調査報告書
68　平成17年 3月　比丘尼原北遺跡（第2・3次発掘調査）
平成13・14年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
69　平成17年 3月　比丘尼原遺跡（第2次発掘調査）
平成13年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
70　平成18年 3月　久保地尾根遺跡（第10次発掘調査）
平成17年度霊園及び宅地造成に先立つ緊急発掘調査報告書
71　平成19年 3月　雁頭沢遺跡（第12次）・前沢遺跡（第5次）・出寺平遺跡・二枚田遺跡（第4次）
平成18年度駐車場建設に先立つ雁頭沢遺跡第12次、個人住宅建設に先立つ前沢遺跡第5次、出寺平遺跡、二枚田遺跡第4次緊急発掘調査報告書
72　平成20年 3月　雁頭沢遺跡（第13次）・久保地尾根遺跡（第11次）・出寺平遺跡（第2次）・二枚田遺跡（第5次）

		平成19年度個人住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡第13次、久保地尾根遺跡第11次、出寺平遺跡第2次、遺跡範囲確認に伴う二枚田遺跡第2次緊急発掘調査報告書
73	平成21年 1月	宮ノ下遺跡（第3次発掘調査） 平成20年度集合住宅建設に先立つ宮ノ下遺跡第3次緊急発掘調査報告書
74	平成22年 3月	ワナバ・栃の木遺跡（第1次発掘調査） 平成21年度「払沢上住宅団地」造成工事に先立つ緊急遺跡範囲確認調査報告書
75	平成23年 3月	出寺平遺跡（第3次）・久保地尾根遺跡（第13次）・南尾根遺跡（第1次）・二枚田遺跡（第6・７次） 平成22年度個人住宅建設に先立つ出寺平遺跡第3次・久保地尾根遺跡第13次・南尾根遺跡第1次・二枚田第6・７次緊急発掘調査報告書
76	平成24年 3月	大横道上遺跡（第3次）・久保地尾根遺跡（第14次）・雁頭沢南遺跡（第1次）・山の神遺跡（第3次）・ワナバ遺跡（第2次）・二枚田遺跡（第8次） 平成23年度個人住宅建設に先立つ大横道上遺跡第3次・久保地尾根遺跡第14次・雁頭沢南遺跡第1次・山の神遺跡第3次・ワナバ遺跡第2次・二枚田遺跡第8次緊急発掘調査報告書
77	平成24年 3月	南尾根遺跡（第2次）・向尾根遺跡（第3・4次） 平成23年度携帯電話中継局建設に先立つ南尾根遺跡第2次緊急発掘調査、駐車場造成に先立つ向尾根遺跡第3・4次緊急発掘調査報告書
78	平成24年 3月	大横道上遺跡（第4次発掘調査） 平成24年度個人住宅建設に先立つ大横道上遺跡第4次緊急発掘調査報告書
79	平成26年 3月	久保地尾根遺跡（第15次発掘調査）・二枚田遺跡（第9次発掘調査） 平成25年度個人住宅建設に先立つ久保地尾根遺跡（第15次発掘調査） 二枚田遺跡（第9次発掘調査）緊急発掘調査報告書
80	平成26年 3月	大石遺跡（第6次発掘調査） 平成25年度太陽光発電設備設置に伴う進入路拡幅工事に伴う緊急発掘調査報告書
81	平成27年 3月	赤羽遺跡（第1次）・中尾根遺跡（第1次） 平成26年度個人住宅建設に先立つ赤羽遺跡（第1次）・中尾根遺跡（第1次）緊急発掘調査報告書
82	平成27年 3月	前沢遺跡（第6次） 平成26年度前沢遺跡（第6次）作業所建設に先立つ緊急発掘調査報告書
83	平成27年 3月	家裏遺跡（第1次） 昭和59年度村道改良に先立つ家裏遺跡第1次緊急発掘調査報告書
84	平成28年 3月	山の神上遺跡（第1～3次発掘調査） 昭和45年・平成7年度　村道改良に先立つ山の神上遺跡第1・3次緊急発掘調査 昭和56年度車庫建設に先立つ山の神上遺跡第2次緊急発掘調査報告書
85	平成28年 3月	雁頭沢遺跡（第15次発掘調査） 平成27年度　宅地造成に先立つ雁頭沢遺跡第15次緊急発掘調査報告書
86	平成28年 3月	原山遺跡（試掘）・阿久遺跡（試掘） 平成26年度太陽光発電設置施設に伴う造成工事に先立つ原山遺跡緊急試掘調査・平成27年度資材置き場・駐車場造成に先立つ緊急試掘調査報告書
87	平成29年 3月	原村の遺跡
88	平成29年 3月	大横道上・ワナバ遺跡（第7次）・徳久利遺跡（第8次） 宮平遺跡・雁頭沢遺跡（第16・17次）・家裏遺跡（試掘） 平成28年度個人住宅建設に先立つ大横道上・ワナバ遺跡第7次、徳久利遺跡第8次、宮平遺跡、雁頭沢遺跡第16・17次緊急発掘調査、村道改良に先立つ家裏遺跡緊急試掘調査報告書
89	平成29年 3月	比丘尼原北遺跡（第4次） 平成28年度特別高圧線鉄塔建て替えに先立つ比丘尼原北遺跡第4次緊急発掘調査報告書
99	平成29年 3月	徳久利遺跡（第4次） 昭和59年度土砂採取及び造成に先立つ徳久利遺跡第4次緊急発掘調査報告書

91	平成30年 3月	雁頭沢遺跡（第18次）・家裏遺跡（第3次） 二枚田遺跡（試掘）・前沢遺跡（試掘） 平成29年度個人住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡第18次、家裏遺跡第3次緊急発掘調査、駐車場造成に先立つ二枚田遺跡、宿舎造成に先立つ前沢遺跡緊急試掘調査報告書
92	平成31年 3月	久保地尾根遺跡（第1・3・5・9次）・雁頭沢遺跡（第1・2・9次）・宮ノ下遺跡（第1・2次） 昭和25年度、平成7・8・14年度久保地尾根遺跡村道改良に先立つ緊急発掘調査、昭和54・57 年度、平成10年度雁頭沢遺跡村道改良に先立つ緊急発掘調査、昭和57年度宮ノ下遺跡村道改 良事業に先立つ緊急発掘調査報告書
93	平成31年 3月	雁頭沢遺跡（第19・20次）・栃の木遺跡（試掘）・追分沢遺跡（試掘） 平成30年度個人住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡第19・20次緊急発掘調査、太陽光発電施設設置に先立つ栃の木遺跡、資材置場造成に先立つ追分沢遺跡緊急試掘調査報告書
94	令和２年 3月	山の神遺跡（第1次）・大石遺跡（第2・3次）・大石西遺跡（第1次）・ヲシキ遺跡（第2・3次）・居沢尾根遺跡（第4・6次）・阿久遺跡（第6・11次）・前沢遺跡（第1・2次） 昭和54年度山の神遺跡八ヶ岳西南麓遺跡群分布調査に先立つ試掘調査・平成3年度大石西遺跡ゴルフ練習場建設に先立つ範囲確認発掘調査報告書 平成2・3年度大石遺跡、平成10・11年度ヲシキ遺跡、昭和56年・平成11年度居沢尾根遺跡、昭和54年・平成13年度阿久遺跡、昭和54・61年度前沢遺跡村道改良事業に先立つ緊急発掘調査報告書
95	令和２年 3月	久保地尾根遺跡（試掘調査） 令和元年度農業基盤整備促進事業に先立つ久保地尾根遺跡緊急試掘調査報告書
96	令和２年 3月	久保地尾根遺跡（第16次） 令和元年度農協基盤整備促進事業に伴う久保地尾根遺跡第16次緊急発掘調査報告書
97	令和２年 3月	大石遺跡（第7次） 平成29年度駐車場造成に伴う大石遺跡第7次緊急発掘調査報告書
98	令和３年 3月	裏の尾根遺跡（第3次） 令和2年度県営農村地域防災減災事業番飼場地区に先立つ裏の尾根遺跡第3次緊急発掘調査報告書
99	令和３年 3月	家裏遺跡（試掘調査）・前尾根西遺跡（試掘調査）・二枚田遺跡（第10次） 令和2年度事務所兼倉庫建設に先立つ家裏遺跡、個人住宅建設に先立つ前尾根西遺跡緊急試掘調査、合併浄化槽設置に先立つ二枚田遺跡第10次緊急発掘調査報告書
100	令和３年 3月	赤羽遺跡（試掘調査・第2次） 事務所造成に先立つ赤羽遺跡緊急試掘調査・第2次緊急発掘調査報告書
101	令和３年 3月	久保地尾根遺跡（範囲確認調査・第17次発掘調査） 宅地造成に先立つ久保地尾根遺跡範囲確認調査、第17次緊急発掘調査報告書
102	令和３年 3月	大横道上遺跡（第1・2次）・裏尾根遺跡（第1・2次）・家下遺跡（第1次） 昭和42年度水田造成に先立つ大横道上遺跡緊急発掘調査、昭和51年度耕作中発見に先立つ大横道上遺跡緊急発掘調査、平成8・10年度村道改良に先立つ裏尾根遺跡緊急発掘調査、昭和59年度家下遺跡緊急発掘調査報告書

その他

1	昭和57年 7月	原村埋蔵文化財収蔵庫落成記念 阿久・大石・居沢尾根遺跡等出土土器展
2	昭和59年 3月	史跡　阿久遺跡保存整備基本計画書
3	昭和54年12月	阿久　№1
4	昭和58年 3月	阿久　№2
5	平成20年 3月	国史跡阿久　私たちが未来に伝えるものは何か
6	平成20年 3月	原村郷土館　癒しの空間がここにある
7	平成25年 3月	原村文化財散策マップ
8	平成27年 3月	原村文化財ガイドブック第1集 セロリンと行く原村良所　八ヶ岳山麓に花咲いた縄文文化
9	平成28年 3月	原村文化財ガイドブック第2集 セロリンと行く原村良所　八ヶ岳山麓に住んだ縄文の人々
10	平成29年 3月	原村文化財ガイドブック第3集 セロリンと行く原村良所　自然と共に生きた縄文人
11	平成30年 3月	原村文化財ガイドブック第4集 セロリンと行く原村良所　あなたの知らない縄文土器の世界
12	平成30年 3月	原村文化財ガイドブック第5集 セロリンと行く原村良所　原村の土蔵を彩る鏝絵
13	平成31年 3月	原村文化財ガイドブック第6集 セロリンと行く原村良所　原村の文化財散策ガイドブック
14	平成31年 3月	原村文化財ガイドブック第7集 セロリンと行く原村良所　国史跡 阿久遺跡 No4
15	平成31年 3月	原村文化財ガイドブック第8集 セロリンと行く原村良所　星降る中部高地の縄文世界を彩る土の芸術
16	令和２年 3月	原村文化財ガイドブック第9集 フゥーちゃんと行く原村良所　縄文人の思いがつまった土の造形品
17	令和３年 3月	原村文化財ガイドブック第10集 フゥーちゃんと行く原村良所　縄文の灯 釣手土器の世界

8　原村歴史民俗資料館（八ヶ岳美術館）

(1) 運営方針

原村出身の彫刻家清水多嘉示の生涯にわたる作品を中心に、同村出身の書家津金雀仙の作品、および村内遺跡から出土した縄文時代の考古学資料を展示することにより、村民はもとより原村を訪れる人々に社会教育の場を提供します。また地域の文化施設として、年間を通して各種の企画展を開催し、常設展と併せて来館者に様々な美術作品に親しむ機会を提供し、芸術および考古学の情報発信をおこないます。さらに建築作品としても重要な村野藤吾設計の美術館建物の維持管理に努め、その価値を広く紹介し、美術館周辺に広く自生する多くの植物を保護し、訪れる人々が豊かな自然環境の中で芸術作品に親しめるよう努力します。

(2) 令和３年度（2021）八ヶ岳美術館展覧会年間予定

<table>
<tr><th>月</th><th colspan="3">コレクション展</th><th>日数</th><th>企画展示室 A</th><th>企画展示室 B</th></tr>
<tr><td>4
5
6</td><td rowspan="12">清水多嘉示
彫刻・絵画展</td><td rowspan="12">津金雀仙
書作品</td><td rowspan="12">考古資料</td><td>93
日間</td><td colspan="2">没後40年　清水多嘉示　絵画展
第1期　滞仏期未発表作品
4/3 (土) ～7/4 (日)</td></tr>
<tr><td>7
8
9</td><td>65
日間</td><td colspan="2">高橋耕也のからくりオブジェ展
7/10 (土) ～9/12 (日)</td></tr>
<tr><td>10
11
12</td><td>79
日間</td><td colspan="2">没後40年　清水多嘉示　絵画展
第2期　諏訪時代と帰国後の絵画
9/18 (土) ～12/5 (日)</td></tr>
<tr><td>1
2
3</td><td>95
日間</td><td colspan="2">塚田裕　現代絵画展
12/11 (土) ～3/21 (月・祝)</td></tr>
</table>

開館日: 332日
休館日: 展示替え期間 (～4/2 (金)、7/5 (月) ～7/9 (金)、9/13 (月) ～9/17 (金)、12/6 (月) ～12/10 (金)、3/22 (火) ～3/31 (水))
年末年始 (12/29～1/3)

(3) 令和２年度入館者数及び売店販売実績

令和2年度は新型コロナ禍に見舞われ、諏訪保健所管内で初の陽性患者が確認された翌日の4月 5日～5月31日まで約2カ月間を臨時休館としました。6月1日から再開したものの第1波第2波のコロナ情勢をにらみながら企画展を再編成し、夏の企画展を翌年に延期、春からの「開館40周年記念 新収蔵 清水多嘉示 石膏原型の全貌」を1期2期に分けて継続開催しました。秋の全国公募展「あなたが選ぶ信州の裂織展」冬の「四季の野鳥展～諏訪・八ヶ岳山麓から～」と合わせ年間4本の企画展を開催しました。

【入館者数】

- 有料入館者数は3,739人（大人3,664人、小人75人）で前年対比73.5%（1,346人減）。入館料収入は1,813,320円で前年対比73.0%（672,110円減）でした。
- 新型コロナ禍により、2カ月間の休館のほか年間を通して第1波第2波に揺れ、2度にわたる国の緊急事態宣言・延長や往来外出自粛の影響を受けました。企画展変更やイベント中止を余儀なくされたこともあって、春～夏は特に低調で夏休みの8月は有料入館者が前年比52%まで落ち込みました。その反動で秋から年末（9月～12月）にかけては前年同月比平均127%に復調しました。年明けの1都3県緊急事態宣言発令により1、2月は同平均80%に落ちたものの年度末の3月は前年比274%と伸びましたが、通年平均は、およそ3割減の結果となりました。

・ちなみに、感染2波最中の8月1日～8月16日のお盆入り込み期間は入館者381人中、県外者315人（83%）うち首都圏が180人（57.1%）を占め、全体に占める県内者は66人（17%）、地元（諏訪圏）は41人（10.8%）でした。通常は県外者60%、県内者40%の割合なので、一気に首都圏を中心に県外来館者が増えたことを物語っています。

【売店収入】

・売店収入は850,773円で前年対比77%（259,672円減）でした。2か月休館と緊急事態宣言・外出自粛ムードが響いたうえ、仕入れ業者も自由な買い付けが出来なくて品揃いが少なく新商品を並べることが出来ない苦しい1年でした。

(4) 総収入

・入館料・売店売上等の総収入は3,246,086円で昨対80%（803,021円減）でした。令和元年度の総入館料・売店売上に自力獲得した企画展協賛金を加えた総収入は4,049,107円と前年比78%、1,137,938 円の減収でした。

(5) 令和２年度実施事業

・条例と運営方針に基づき、常設展示のほか4企画と35回の館内外のイベントを実施しました。

令和２年度　八ヶ岳美術館企画展・イベント参加者数

展覧会名	会　期	関連イベント	開催日	参加者数	有　料入館者数	入館者数
開館40周年 新収蔵清水多嘉示 石膏原型展 第1期	4/1（水）～ 7/5（日） ※4/5～5/31は新型コロナウィルス感染症対策の為臨時休館	※イベントはいずれも第2期へ延期		0	210	301
開館40周年 新収蔵清水多嘉示 石膏原型展 第2期	7/6（月）～ 9/13（日）	トークイベント 清水多嘉示 石膏原型をよみとく連続講座 1 講師 青山敏子 八ヶ岳美術館開館40周年セレモニー	7月26日（日） 中止	0	1,143	1,316
		トークイベント 清水多嘉示 石膏原型をよみとく連続講座 2 講師 黒川弘毅	8月8日（土） 中止	0		
		トークイベント 清水多嘉示 石膏原型をよみとく連続講座 3 講師 井上由理	9月5日（土） 中止	0		
		美術館収蔵庫 特別公開	7月19日（日）	8		
		清水多嘉示作品をめぐるツアー　～原村編～	9月6日（日）	3		
		彫刻を楽しむワークショップ 石膏工作	7月11日（土）	2		
		彫刻を楽しむワークショップ キーチャーム作り	8月1日（土）	1		
		彫刻を楽しむワークショップ 彫刻のにがおえスケッチ会	8月9日（日） 中止	0		
		彫刻を楽しむワークショップ 彫刻クロッキー会	8月21日（金）	3		
八ヶ岳美術館 全国公募展 第8回あなたが選ぶ 信州の裂織展	9/19（土）～ 12/6（日）	オープニングジャズ生演奏	9月19日（土）	16	1,593	1,782
		機織り体験 1 機織り体験 2 機織り体験 3	9月27日（日） 10月10日（土） 10月20日（火）	4 2 4		
		裂織コースターづくり 1 裂織コースターづくり 2 裂織コースターづくり 3	10月4日（日） 10月25日（日） 11月12日（木）	0 3 2		
		裂布アクセサリーづくり 1 裂布アクセサリーづくり 2	10月17日（土） 11月6日（金）	1 5		

展覧会名	会　期	関連イベント	開催日	参加者数	有　料入館者数	入館者数
四季の野鳥展 ～諏訪・ 八ヶ岳山麓から～	12/12(土)～ 3/25(木)	連続講座～諏訪地域の野鳥を識る 1 講師 野澤進之輔	12月13日(日)	42	793	1,092
		連続講座～諏訪地域の野鳥を識る 2 講師 宮澤富幸	1月17日(日) 中止	0		
		連続講座～諏訪地域の野鳥を識る 3 講師 杉山直	2月7日(日) 中止	0		
		諏訪地域の野鳥を観る ～初心者向け野鳥観察会	3月20日(土)	29		
その他イベント		はらむら塾講演	6月18日(木)中止 8月6日(木) 10月15日(木) 2月10日(木)	0 28 22 14		
			合計	64		
		建築ガイドツアー	7月5日(日)	5		
		連続講座～星降る里の縄文講座 3 前年度延期分 講師 三上徹也	7月18日(土)	24		
		ブロンズクリーニング清水生誕記念	7月27日(月) 中止	0		
		原小図工クラブ ワークショップ	6月18日(木) 7月2日(木) 8月27日(木) 9月24日(木) 10月22日(木)	29 29 29 29 29		
			合計	145		
		ジュニア教室「森のこうさくしつ」	9月5日(土)	22		
		ワークショップ「クリスマスグッズづくり」	12月6日(日) 12月14日(月) 12月17日(木)	4 2 1		
			合計	7		
		まちゼミ「カンタン☆キレイ宝石せっけんづくり」	2月6日(土) 2月12日(金) 2月14日(日) 2月20日(金) 3月2日(火) 3月7日(日)	3 0 3 2 2 0		
			合計	10		
		原中学校ブロンズ除幕式	3月25日(木)	99		
			合計(名)	501	3,739	4,491

中止した講演会などイベントは次の通りです。

・開館40周年 清水多嘉示 石膏原型をよみとく連続3講座
　「石膏原型修復で解き明かされた世界」黒川弘毅（武蔵野美大教授）
　「みどりのリズム 制作秘話」青山敏子（清水多嘉示三女）
　「諏訪のブールデル」井上由里（近代彫刻研究家）
・収蔵庫見学ツアー
・彫刻をたのしむワークショップ 金属工作・石膏工作・スケッチ会
・ブロンズクリーニング
・諏訪地域の野鳥を識る講座
　杉山直日本野鳥の会諏訪支部長
　宮澤富幸日本野鳥の会諏訪支部役員

(6) 新型コロナ対策

・新型コロナ対策は、スタッフ・来館者とも「一人のコロナ患者もクラスターも出さない」をモットーに独自のマニュアルを作成しました。①3密回避はもちろん、非接触をキーワードに、非接触アルコール消毒、非接触検温、非接触スリッパ殺菌②接触感染リスクの高い図書コーナーをクローズ③記帳カードも1枚ずつ配布して記帳台・ボールペン・いすに至るまでその都度アルコール消毒を徹底④換気は吸い込む際のエアロゾル感染を防ぐため来館者がいないときの換気励行を実施しました。八ヶ岳美術館は首都圏からの来館者や別荘滞在者が多い最前線に位置しておりますが、幸いにして一人の陽性者やクラスターも出さず開館業務を行うことが出来ました。

八ヶ岳美術館新型コロナウィルス感染防止マニュアル

八ヶ岳美術館

◆HP、外の駐車場に、高熱の方の入館ご遠慮、マスク着用の案内掲示

◆入館時お客様へのお願い

・手指消毒
屋外に自動消毒機を設置し、手指のアルコール消毒を行ってから入館いただく。（帰りも行う）

・検温
受付前で非接触検温器にて検温いただく。機械が検知しにくい場合、また団体の場合は手動で測る。
高熱目安は平熱以上もしくは37.5度
①それより高い場合→「体調悪いのではと心配されますので、どうぞお気をつけてお帰りください」
②37.4度付近→「平熱はおいくつですか。体調はいかがですか」

・スリッパはスリッパ除菌器から出してお使いいただき、しまっていただく。

◆レジでの対応・感染予防説明（口頭、掲示）
ビニールシートごしに応対。綿手袋をし、金銭のやり取り等はトレイ上で行う。
【お客様へお願い】
①「後ろのスリッパ除菌器からスリッパを出し、お使いください。お帰りはお戻しいただけますと、除菌されるのでお願いします」（親切にスタッフでスリッパを出すと、脱ぎっぱなしで帰ってしまう。接触を避けるために、お客様に出し入れいただく）
②「万が一感染者が出た場合、ご利用いただいている皆様にご案内できるよう、（お客様の安全を守るために、ご連絡先のご記入お願いします」（記入票は束にして置かず都度1枚ずつ配布）
③（館内の人数が多くなってきた場合）鑑賞の際は、他のお客様と間隔をおとりください。(最低1m（できるだけ2mを目安に））。
④マスクのない方には1枚50円にて販売（レジは04売店扱い）し、着用いただく。

◆館内
・各所（トイレ、下駄箱、几帳台ほか）に非接触自動消毒機設置
・図書コーナー閉鎖
・パンフ類は、少量設置
・空気清浄器設置（几帳台、事務室）
・パーテーション設置（几帳台、事務室）

◆館内トイレ
・便座に使い捨てシートペーパー設置
・ノブのつまみなど触れるところに抗菌シート

◆屋外トイレ、外水道
・感染症予防対策のため、閉鎖中

◆イベント時
・座席は間隔をとる。講師にフェイスシールドなど対策する。

◆職員感染防止対策
・マスク着用、検温（記録）、体調確認（具合が悪ければ帰宅）こまめに手洗い、アルコール消毒。
・業務中必要な時は、各種手袋、フェイスシールド、ゴーグル、カッパを着用する。

・事務所デスクや、玄関周りで抗菌シートのない部分は使い捨てキッチンペーパーを使いアルコール除菌
（物によりアルコールで拭くと劣化するものがある場合は気を付ける）
・開閉館時、都度館内換気扇をまわし外気の入替。（空気感染を避けるため来館者在館時の換気扇不使用）
・感染予防の為ゴム手袋各種、カッパ、ゴーグルは必要に応じてそれぞれ着用。綿手袋は各自で洗濯。

(7) 広報 八ヶ岳美術館建築の世界発信 パリコレとドバイ

・新型コロナ禍の中で八ヶ岳美術館の知名度を国際的に高めた二つの事例を報告します。

①服飾デザイナーが競合する世界のステージ「パリコレクション（パリコレ）」が飛行機で渡仏できない状況下となり、世界中の著名デザイナーの2021春夏コレクション発表が2020年9月28日YouTube（ユーチューブ）で世界同時発信されました。故三宅一生（ミヤケイッセイ）のパリコレ企画運営を長く担当した伊那出身のデザイナー黒河内真衣子さん（ブランドMame）は以前から八ヶ岳美術館に魅了されており、木漏れ日のさす八ヶ岳美術館の「窓」をテーマに写真と動画でパリコレ発信。延べ60人のモデルスタッフが2日間撮影した八ヶ岳美術館のシーンが世界中に紹介されました。

②金沢21世紀美術館芸術監督や東京都現代美術館チーフキュレターなどを務めた世界的に著名な長谷川祐子東京芸術大学大学院教授が直接来館して調査した「村野藤吾建築」の八ヶ岳美術館が2021年7月24日−10月1日にドバイ近郊アラブ首長国連邦シャールジャ首長国で開かれる日本の建築展「日本建築における閑居、孤立と連結性」で9人の日本建築家による建築作品の筆頭に紹介される。大学の専門家の手によって再現される精巧な模型や設計図とともに八ヶ岳美術館の特徴と魅力が専門家の視点で全世界に発信され、村野建築の真髄が世界的に再認識されると期待されています。八ヶ岳美術館は資料提供など全面協力しています。

(8) 新型コロナ対策を活用した経費節減策

・コロナ禍で開館40周年セレモニーや講演会など多くのイベントを中止したため、それに替わり「家庭でいつでも見ることのできる美術館」を目指して映像と画像のコンテンツを新規制作し、美術館紹介や企画展のHPアップと講演会の館内放映を始めました。
・講師謝礼など一過性で消えてしまう企画展予算内で恒久的に活用できる映像画像コンテンツを残すことができ、巣ごもり需要など新しい日常に対応する発信形態に取り組みました。

①八ヶ岳美術館のホームページをリニューアルし、長野日報に見開きで紹介された「清水多嘉示　石膏原型の全貌」をHP上にアップし「画像展覧会」がいつでも見ることができるようにしました。

②LCVが制作放映した『美の作品〜八ヶ岳美術館〜』（15分）を許可を得てHP上に動画アップしました。テレビを見るように 居ながら美術館を体験できるようにしました。

③中止となった黒川弘毅武蔵野美術大学教授と青山敏子氏（著作権者）の講演に替えて新たにビデオを制作し館内上映（ビデオ講演会）など、コロナ禍を福に転じたイベント発信に力を入れました。

(9) 博学・地域連携

・武蔵野美術大学との共同研究を継続しながら、武蔵野美術大学−八ヶ岳美術館−原中学校−原小学校の連携をさらに強化しようと尽力しています。新型コロナ禍ではあっても 3 密を避けながら原小図工クラブとのワークショップは5回にもおよび延べ145人との課外アート交流を深めました。消しゴムアート、芳香剤づくりなど美術館スタッフが学校を訪ねて楽しいアートなひとときを体験できたことと思います。
・そのほか、まちゼミ宝石せっけんづくり、ジュニア教室森の工作室、ブロンズクリーニング、ブロンズ除幕式など学校・地域との 連携を大切に活動しました。
・生涯学習アカデミーはらむら塾は原村教育委員会生涯学習課とタイアップしながら、「映画の魅力」「諏訪地方の地名の由来」「クリーニングの極意」など多様な講演会を提供できました。

(10) 施設整備・営繕管理

・老朽化した屋外看板パネルを修復したほか床暖房ボイラー燃焼系の修理修繕、雷停電による電気配線修復、屋内トイレ便座交換、風倒木危険木調査など教育委員会のご支援を頂きながら、自助努力も重ねてインフラ整備を進めています。
・当面、屋根のクラック防水、館内照明LEDが課題となっております。



石膏原型展



ブロンズ除幕式



原小図工クラブの芳香剤づくり





八ヶ岳美術館で撮影されたパリコレの2021春夏コレクション

9　原村図書館

(1) 原村図書館沿革

平成　5年	9月　1日	図書館検討委員会発足
平成　6年	1月25日	図書館建設についての答申書受理
平成　7年	6月　1日	建設工事着手
平成　8年	3月21日	図書館本体完成引き取り
	6月20日	公園工事完了引き取り
	8月　2日	オープニングセレモニー（竣工式）
	8月　3日	一般利用開始
平成　9年	6月19日～20日	第1回図書館まつり
	8月28日	貸出し10万冊達成
平成10年	6月20日～21日	第2回図書館まつり
	11月　4日	貸出し20万冊達成
平成11年	6月19日～20日	第3回図書館まつり
	10月15日	貸出し30万冊達成
平成12年	4月	図書館システム更新 （LMO　Ver5.0）
	6月17日～18日	第4回図書館まつり
	11月15日	貸出し40万冊達成
平成13年	6月　2日 ～ 3日	第5回図書館まつり
	11月22日	貸出し50万冊達成
平成14年	6月　1日 ～ 2日	第6回図書館まつり
	12月21日	貸出し60万冊達成
平成15年	6月	原中学校図書館とのネットワーク化
	6月　7日 ～ 8日	第7回図書館まつり
平成16年	2月　7日	貸出し70万冊達成
	6月　5日 ～ 6日	第8回図書館まつり
平成17年	2月20日	貸出し80万冊達成
	4月	図書館システム更新（LMO 2005）
	6月　5日 ～ 6日	第9回図書館まつり
平成18年	1月31日	貸出し90万冊達成
	6月　3日 ～ 4日	第10回図書館まつり 10周年記念講演会 「ハチの子リサちゃんによせて」 まんが家　伊藤理佐
	12月　1日	貸出し100万冊達成
平成19年	4月	原小学校図書館とのネットワーク化
	6月　9日～10日	第11回図書館まつり
平成20年	6月21日～22日	第12回図書館まつり
平成21年	2月	1階西側に書庫整備
	6月13日～14日	第13回図書館まつり
	8月	第1次原村子どもの読書活動 推進計画策定
平成22年	6月19日～20日	第14回図書館まつり
平成23年	6月17日	貸出し150万冊達成
	6月18日～19日	第15回図書館まつり
平成24年	6月16日～17日	第16回図書館まつり
平成25年	6月22日～23日	第17回図書館まつり
平成26年	4月	第2次原村子どもの読書活動 推進計画策定
平成26年	6月21日～22日	第18回図書館まつり
平成27年	6月23日	貸出し200万冊達成
	9月17日	図書閲覧室LED照明工事完了
	11月14日～15日	第19回図書館まつり
平成28年	11月26日～27日	第20回図書館まつり
平成29年	4月	図書館システム更改
	9月20日	事務室等LED照明工事完了
	10月31日	図書館外壁改修工事完了
	11月25日～26日	第21回図書館まつり
平成30年	6月23日～24日	第22回図書館まつり
令和　元年	6月29日～30日	第23回図書館まつり 記念講演 伊藤理佐さん
令和　2年	4月	第３次原村子どもの読書活動 推進計画策定
	12月	図書除菌機導入

(2) 施設の概要

(1) 所在地　諏訪郡原村12079番地1　　TEL（0266）70－1500
　　FAX　　79－7000

(2) 施　設
① 敷地面積　4457㎡（公園含む）
② 廷床面積　925.41㎡
　1階　　事務室、一般開架、児童開架、くつろぎ、閉架書庫
　2階　　会議室、小会議室、閉架書庫
③ 構　　造　　鉄筋コンクリート造　2階建、野芝・カラーアスファルト
④ コンピュータシステム導入　平成7年4月より6市町村オンライン化
⑤ 大型プロジェクター導入　ビデオ・LD・CD・カセット

(3) 利用案内

(1) 開館時間　午前10時～午後6時15分
(2) 休 館 日　月曜日・国民の休日に関する法律に規定する休日、ただしこの日が月曜日にあたるときは、その翌日・年末年始・蔵書整理期間（おおむね4日間）・館内整理日（毎月最終金曜日）
(3) 資料貸出　図　書　　20冊　　貸出期間2週間
　CD・DVD　　3点以内　貸出期間1週間
(4) 資料検索
(5) 資料の予約、リクエストの受付
(6) レファレンスサービス（必要な資料の提供、調べ方案内）
(7) 複写サービス
(8) 国立国会図書館　デジタルコレクション閲覧・複写　歴史的音源試聴

(4)　運営の基本方針

・生涯学習の拠点として、住民に親しまれる図書館
・住民と共に育つ図書館
・読書を介して、子どもたちの生きる力を育む図書館

(5)　事業計画の概要

・郷土資料及び幅広い資料の収集と整備
・ボランティアグループ、読書グループとの協同
・奉仕活動の充実、貸出、リクエスト、レファレンス等
・図書館利用のPR活動
・学校図書館との連携の強化
・おたのしみ会、おはなし会、図書館講座等の読書推進活動

・中止 は新型コロナウイルス発生、感染予防対策のため

事　業	内　容	実　施　日
おはなし会	ボランティアグループとの協働　「みちくさ」　・中止	5月16日　（土）
	「やまんば」	7月18日　（土）
	「おもちゃ箱」	9月16日　（水）
	大人のおはなし会　各団体　・中止	10月17日　（土）
	「カントリーマアム」	11月21日　（土）
	「絵本を楽しむ会」	1月16日　（土）
	「おもちゃ箱」	2月17日　（水）
	「やまんば」	3月13日　（土）
		年8回実施
おたのしみ会	小・中学生読書ボランティア「のこのこ」と　・中止	4月22日　（水）
	図書館司書によるおはなし会　・中止	6月3日　（水）
	・中止	7月1日　（水）
		9月2日　（水）
		11月4日　（水）
		2月3日　（水）
		3月3日　（水）
		年7回実施
図書館まつり	第24回　図書館まつり　・中止	6月20日　（土） おはなし会等
	人形劇、ボランティアおはなし会、ブックコートかけ ペーパークラフト、講演会（小林節子先生）	6月21日　（日） 講演会等
保育所の園児への読み聞かせ	保育所の園児への読み聞かせと絵本の貸し出し	年12回
出前講座	子育てサロン　読み聞かせ	7月17日、11月20日、3月5日
	子育て塾	5月13日
ファーストブック贈呈	ファーストブックプレゼント	10月
	（第90・91回原村誕生会）	2月
セカンドブック贈呈	3歳を迎えた子供たちにおはなし会に併せて	10月20日　（水）
	セカンドブックをプレゼント	3月30日　（水）
クリスマス会	ボランティアグループによるおはなし会	12月19日　（日）
図書館講座	夏の図書館講座　・中止	8月5日　（木）
	冬の図書館講座 絵手紙	2月6日　（土）
テーマ図書の展示	季節や行事に併せてテーマを組み図書を展示	4月「子ども読書の日」等 月に2～3回入れ替え

展示コーナー展示				
	村内出土・長野県宝指定土器の展示	3月25日	中学校美術展	11月18日
	「美しい村」写真&ポスター	6月10日	絵手紙展示	1月6日
	粘土細工・オブジェ等展示	7月23日	ぼろ機織り	2月17日
	読書週間に合せた図書館展示	9月30日		

(6) 令和２年度図書館利用状況

4/5～5/24　新型コロナのため休館

	H8～R2.3.31	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数		4	5	24	24	24	23
来館者数		625	478	3,239	3,519	3,622	3,763
登録者		2	0	24	17	15	12
利用人数		457	343	1,539	1,702	1,852	1,738
利用相互団体		14	15	44	56	20	37
貸出資料数（個人貸出）		1,906	2,007	7,620	8,020	8,768	7,958
貸出資料数（団体相互）		44	70	160	316	135	163
内 AV聴覚		32	33	130	167	141	150
内 AV視覚		111	95	534	609	588	580
貸出資料数		1,950	2,077	7,780	8,336	8,903	8,121
来館者人数累計	2,314,591	2,315,216	2,315,694	2,318,933	2,322,452	2,326,074	2,329,837
貸出資料数累計	2,576,138	2,578,088	2,580,165	2,587,945	2,596,281	2,605,184	2,613,305

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度合計
開館日数	22	22	23	23	21	24	239
来館者数	3,386	3,628	3,706	3,712	3,864	4,086	37,628
登録者	38	14	23	23	53	24	245
利用人数	1,666	1,616	1,801	1,974	1,948	1,987	18,623
利用相互団体	60	39	68	42	30	26	451
貸出資料数（個人貸出）	7,586	7,318	8,456	9,036	8,834	9,003	86,512
貸出資料数（団体相互）	258	235	410	298	152	83	2,324
内 AV聴覚	137	134	142	148	185	156	1,555
内 AV視貸	576	571	578	675	644	728	6,289
貸出資料数	7,844	7,553	8,866	9,334	8,986	9,086	88,836
来館者人数累計	2,333,223	2,336,851	2,340,557	2,344,269	2,348,133	2,352,219	
貸出資料数累計	2,621,149	2,628,702	2,637,568	2,646,902	2,655,888	2,664,974	

(7) 蔵書集計表 （令和3年3月31日現在）

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術工学	産業	芸術美術	言語	文学	その他	計
一　　般	1,843	1,455	3,022	7,003	3,656	4,417	2,227	4,367	985	22,147	2,513	53,635
児　　童	729	317	1,045	1,264	1,689	796	618	1,108	391	8,386	13,565	29,908
郷土資料	294	150	1,784	1,431	269	277	209	570	27	585	2	5,598
計	2,866	1,922	5,851	9,698	5,614	5,490	3,054	6,045	1,403	31,118	16,080	89,141

(8) 資料集計

	R2.3.31	R3.3.31
図　　書	75,932	70,551
絵　　本	12,276	12,737
逐次刊行物	4,366	3,013
ＡＶ聴覚	2,224	2,232
ＡＶ視覚	1,074	1,093
紙芝居	750	720
そ の 他	9	8
総合計	96,631	90,354

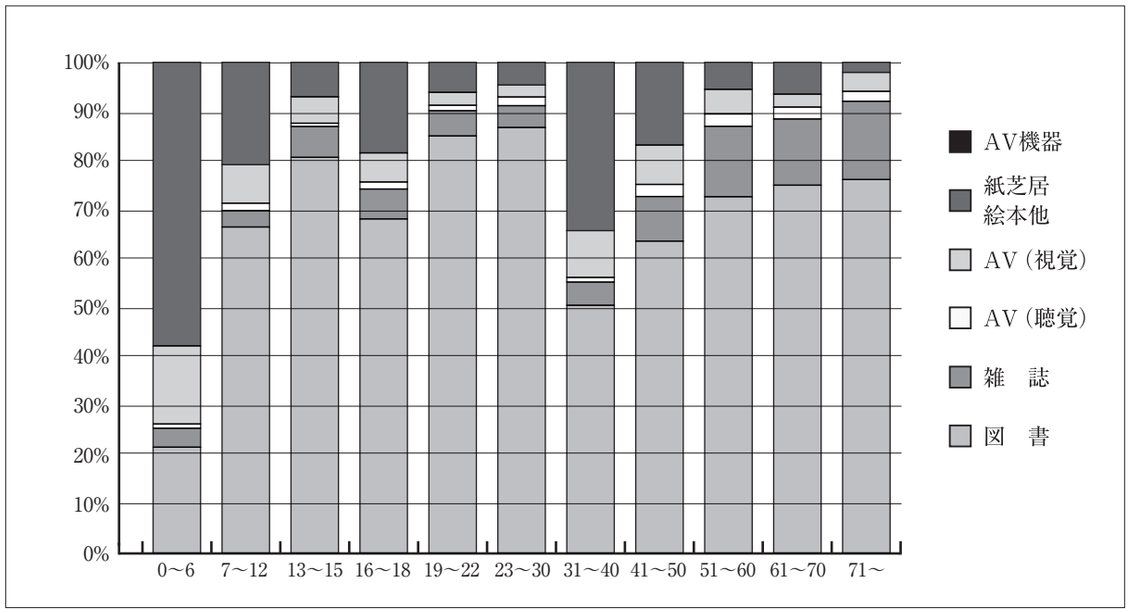
(9) 登録者数（令和3年3月31日現在）

地　区	登録数	地　区	登録数	地　区	登録数
大久保	127	判之木	128	富士見	1,288
柳　沢	339	上　里	294	茅　野	4,787
八ッ手	415	農　場	142	諏　訪	1,275
払　沢	1,252	やつがね	385	下諏訪	263
柏　木	479	ペンション	226	岡　谷	379
菖蒲沢	218	原　山	1,196	郡　外	89
室　内	469	村内計	6,910	県　外	262
中新田	1,024			その他	82
南　原	216			村外計	8,425

全登録者のうち村内登録者率 H30年度　・登録率44.99%（6,607人÷14,683人）
R 1年度　・登録率45.08%（6,798人÷15,077人）
R 2年度　・登録率45.06%（6,910人÷15,335人）
村人口内　・登録率85.96%（6,910人÷ 8,038人）

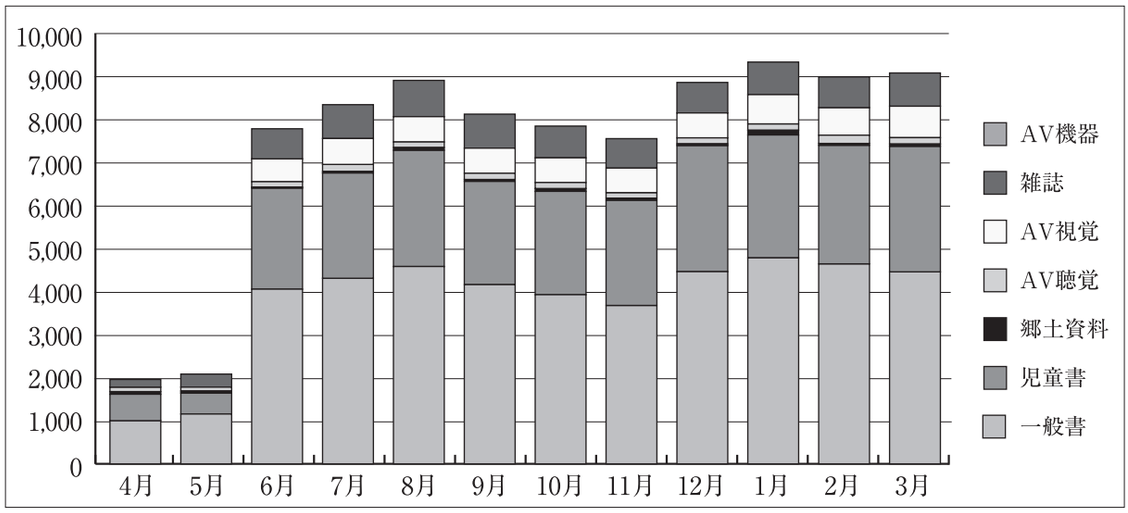
(10) 年代別・分類別貸出状況

	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～	計
図　　書	2,384	6,290	1,768	750	982	1,349	5,692	8,260	7,669	10,195	8,207	53,546
雑　　誌	419	321	138	67	59	69	539	1,186	1,516	1,837	1,717	7,868
ＡＶ（聴覚）	99	137	14	16	13	27	99	327	264	322	220	1,538
ＡＶ（視覚）	1,759	741	119	65	30	39	1,078	1,043	531	360	416	6,181
紙芝居 絵本他	6,388	1,979	155	204	71	70	3,868	2,195	583	898	229	16,640
ＡＶ機器	0	0	0	0	1	2	3	2	4	2	4	18
計	11,049	9,468	2,194	1,102	1,156	1,556	11,279	13,013	10,567	13,614	10,793	85,791
合　　計	85,791（個人）+2,354（団体）+30（相互）+10,296（諏訪地域相互）＝98,471											



(11)　形態別資料貸出の月次統計（諏訪広域相互　含まない）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一　般　書	989	1,147	4,057	4,303	4,579	4,163	3,922	3,676	4,463	4,778	4,637	4,462	45,176
児　童　書	631	494	2,349	2,457	2,704	2,403	2,402	2,443	2,928	2,862	2,761	2,918	27,352
郷土資料	2	2	16	26	55	36	69	47	38	114	46	48	499
ＡＶ聴覚	32	33	130	167	141	150	137	134	142	148	185	156	1,555
ＡＶ視覚	111	95	534	609	588	580	576	571	578	675	644	728	6,289
雑　　誌	184	306	694	774	836	789	737	677	712	754	713	771	7,947
ＡＶ機器	1	0	0	0	0	0	1	5	5	3	0	3	18
計	1,950	2,077	7,780	8,336	8,903	8,121	7,844	7,553	8,866	9,334	8,986	9,086	88,836



(12) 貸出資料数の推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年
個　人　貸　出	119,254	115,358	112,716	110,170	86,512
相　互　・　団　体	8,134	3,598	2,911	2,969	2,324
館内貸出合計		118,956	115,627	113,139	88,836
諏訪広域相互		7,293	9,282	10,455	10,363
貸　出　合　計	127,388	126,249	124,909	123,594	99,199

※平成28年度までの「諏訪広域相互」は、団体・相互に含む。

(13) 資料の受入数及び除籍数等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
図書	2,289	3,276	2,801	2,252	2,371
パンフレット	5	0	0	0	0
絵本	409	546	477	450	461
紙芝居	9	3	19	18	7
CD	38	40	20	48	13
ビデオ	0	0	0	0	0
LD	0	0	0	0	0
DVD	41	54	31	23	22
8ミリ	1	0	0	0	0
その他資料	0	0	0	0	0
雑誌	1,152	1,387	1,383	1,387	1,252
受入合計	3,944	5,306	4,731	4,178	4,126
蔵書合計	99,742	97,551	96,389	96,631	97,872
不明資料	27	30	58	52	16
廃棄・除籍	3,597	3,522	7,497	3,747	3,077

(14) 受入統計 (取得別・分類別)

資料区分	一般書	児童書	郷土資料	障害者資料	AV(CD)	AV(DVD)	AV機器	AV他	雑誌	その他	総計
購入(定期)	1,230	688	0	0	0	0	0	0	1,083	0	3,001
購入(見計い)	42	31	0	0	0	0	0	0	0	0	73
購入(リクエスト)	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	17
購入(その他)	81	146	6	0	7	18	0	0	0	0	258
購入(直送)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
購入(交付金等)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
寄贈	318	47	115	0	4	4	0	0	165	0	653
弁償受入	19	1	0	0	1	0	0	0	4	0	25
発見受入	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
保管転換	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0	84
寄託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	5	1	0	1	0	0	0	0	0	7
冊数合計	1,707	1,010	122	0	13	22	0	0	1,252	0	4,126

10　社会教育施設の概要

<table>
<tr><th>名　　称</th><th>所在地・構造・建築面積等</th><th>建設（開館）
年度・建設費・休館日・入館料</th></tr>
<tr><td>原村埋蔵文化財
収蔵庫</td><td>原村9296-1
敷地面積　3,123㎡
構造　鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積　376.2151㎡</td><td>昭和57年3月竣工</td></tr>
<tr><td>原村郷土館
民俗資料展示室</td><td>原村17217-1566
敷地面積　2,585㎡
構造　木造平屋建
建築面積　135.48㎡</td><td rowspan="3">昭和59年3月竣工</td></tr>
<tr><td>民　　家</td><td>構造　木造平屋建
建築面積　134.865㎡</td></tr>
<tr><td>ま て の く ら</td><td>構造　木造2階建
建築面積　28.42㎡</td></tr>
<tr><td>原村歴史民俗資料館
八ヶ岳美術館
電話 0266-79-2701</td><td>原村17217-1611
敷地面積　56,912㎡
構造　鉄筋コンクリート造平屋建
屋根PC工法によるドーム連続形外壁
建築面積　1,155.03㎡</td><td>昭和54年11月25日竣工
建設費　306,210千円
開館時間　午前9時～午後5時まで
（入館は午後4時30分まで）
休館日　年末年始（12月29日～1月3日）
<table>
<tr><th>区　　分</th><th>一般</th><th>団体(20名以上)</th></tr>
<tr><td>大人(高校生以上)</td><td>510円</td><td>460円</td></tr>
<tr><td>小中学生</td><td>250円</td><td>200円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>原村文化財整理室
電話 0266-79-7930</td><td>原村8915-1他
構造　鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積　300.43㎡</td><td>令和元年9月25日改修
改修工事費　30,264千円</td></tr>
<tr><td>原村中央公民館
電話 0266-79-4815</td><td>原村12080
構造　鉄筋コンクリート造2階建
建築面積　1,498㎡</td><td>昭和51年10月30日竣工
建設費　197,061千円</td></tr>
<tr><td>原村中新田地区館
電話 0266-79-4834</td><td>原村13510-1
構造　鉄筋コンクリート造2階建
建築面積　443㎡</td><td>昭和56年11月15日竣工
建設費　53,200千円
平成20年増築</td></tr>
<tr><td>原村社会体育館
電話 0266-79-4922</td><td>原村12087
構造　鉄筋コンクリート造
＋鉄骨造2階建
建築面積　1,668.3811㎡</td><td>昭和60年3月竣工
建設費　513,651千円
休館日　火曜日、国民の祭日の翌日</td></tr>
<tr><td>原村図書館
電話 0266-70-1500</td><td>原村12079-1
構造　鉄筋コンクリート造2階建
建築面積　925.41㎡</td><td>平成8年6月竣工
建設費　359,450千円
休館日　月曜日</td></tr>
</table>

令和３年度

原村の教育

原村教育委員会

原村の教育

令和３年度

編　集
及び発行　**原村教育委員会**

長野県諏訪郡原村12080番地
☎ 0266-79-7920

印　刷　**ブイ・アンド・シー**

諏訪市沖田町1-62
☎ 0266-58-7301